

令和3年度筑波大学医学群訪問（オンラインセミナー）

1 目的

筑波大学附属病院の病院内の設備や救急部の現場で働く医師との交流を通して、医師が果たす社会的意義、職責の重大性を認識し、進路意識や勉学意欲を高める。

2 日時

令和3年11月9日（火） 15:00~16:15

3 対象者

2学年医学コースの生徒

4 場所

本校階段教室

5 内容

筑波大学附属病院の施設を ZOOM を利用し、オンラインで見学させて頂きました。このオンラインでの施設見学に際しては、筑波大学附属病院の消化器内科で勤務する瀬尾先生、外科の宮崎先生、救急部の井上先生にご協力頂き、普段見ることの出来ない病院内の施設の紹介や、病院内で働いている医師のリアルタイムを詳しく説明して頂きました。瀬尾先生からは、筑波大学附属病院の強みなどを説明して頂いた後、生徒たちからの様々な質問に丁寧に答えて頂き、筑波大学附属病院のことについてよく理解することが出来ました。また、宮崎先生からは、実際の病院内の様子を事前に撮影して頂き、その映像を見ながら病院内の手術室などの施設を説明して頂きました。普段見ることができない病院内部の様子を見ることができ、とても勉強になりました。救急部の井上先生からは、救急部の説明と共にリアルタイムで病院の集中治療室や屋上にあるドクターヘリのヘリポートを見せて頂きました。

医師や看護師の方々が手術前の打ち合わせをするテレビドラマで見るような様子なども見ることができ、病院内で働くイメージを具体的に持つことができました。本来であれば、実際に伺って色々とお話を聞ければ良かったのですが、筑波大学附属病院の先生方のご協力のおかげでオンラインでも臨場感あふれる大変充実した内容となりました。本当にありがとうございました。



以下に参加した生徒たちの感想を紹介します。

今回の講演に参加して、医療現場の様子がよく分かって大変勉強になりました。説明して下さった医師の方々がとても輝いて見えて、医師の仕事にやりがいを感じ、持っていることがよく伝わってきました。医師になりたいという気持ちがより強くなりました。

普段はなかなか見学することが出来ない筑波大学附属病院の様々な施設を見ることができ、とても貴重な体験となりました。小さい頃から医師になることが夢で、現在も努力をしている途中ではありますが、今回の見学会でその気持ちを改めて強く持ち直すことが出来たと共に、医療現場で働くことへの憧れがさらに強まりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

筑波大学附属病院内を見学させて頂き、様々な患者さんに適切な対応ができるだけの高度な設備が整っているなど感じました。救急部の先生の話聞く機会は初めてでしたが、「手術力」、「診断力」、「決断力」の3つの力が必要だという考えは納得しました。ありがとうございました。

今回の講演を通して、「しんどくても頑張れる準備をしておく」という言葉がとても印象に残りました。この言葉を今は受験に置き換えて勉強を続けていきたいと思います。今回の講演で、改めて医療に携わりたいと思えました。お忙しい中、ご講演して頂き、ありがとうございました。

